

2024年度年間標語「キリストに結ばれて、共に歩むわたしたち」コロサイ 2:6-7

## 『信仰と希望と愛の扉』

吉田真司

2024年度も最終主日となりました。「キリストに結ばれて、共に歩むわたしたち」として、一年間の教会活動をしてきました。その一つひとつへの主の護り導きを感謝いたします。また先日3月23日には、念願の「主を喜び祝うコンサート」(55周年記念)を実施でき、会堂から溢れ出るほどの多くの方々と共に賛美をささげることができました。(以下、その中でお話ししたメッセージから)

「信仰は素晴らしい」——それは私たちが信じる神様が素晴らしいからです。神様は、私たち人間の思いを遙かに超えて、「山をも動かす」驚くべきみ業を為して下さいます。乾ききった砂漠(生きる力を失いかけた人間の魂)を命の水で潤して下さい。その神様は素晴らしい。そして私たちはその神様を拠り所とする、それが「信仰」です。だから「信仰は素晴らしい」のです。

「希望は素晴らしい」——それはイエス様が十字架で死なれた後、復活されたからです。地上には深い「悲しみ」が溢れています。一欠片の望みをも失いそうになる時があります。でもイエス様は復活されました。「死が終わりではない」ということを、まさに「永遠の命」を身をもって示して下さい。その「希望」をいただくとき、私たちはこの地上で生き続けることができます。そしてその時を終え召される時に備えることができます。だから「希望は素晴らしい」のです。

「愛は素晴らしい」——イエス様を通して神様と結ばれる関係、そこには「愛」があります。またイエス様を通して他の誰かと結ばれる関係、そこにも「愛」が生まれます。愛は互いを結びつけ、互いの重荷をいっしょに担ぎます。神様は、私たちの罪の重荷をイエス様の十字架によって軽く、またそうして軽やかにされた私たちは、他の誰かの重荷を担い合う(救し合う)者とされるのです。そして私たちは「喜び」つつ、共にこの地上の生を生きるのです。

教会は、この「信仰」と「希望」と「愛」に生きる場所です。本日の55周年記念とは、その55年間、「信仰」「希望」「愛」に生きてきた教会の証しの時であるのです。そしてこれからも私たちは「信仰」と「希望」と「愛」に生きて行きたいと思えます。

最後に「信仰と希望と愛とは幸せの扉」とも歌います。私たちの教会の扉が、まさにその「幸せ」に出会って頂けるような「扉」でありますように、そしてこれからも多くの方々がその「扉」を軽やかにくぐっていただけますように願っております。「大いなる御神の愛」に出会っていただくために。

## 教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00~10:00 (相模原礼拝)
		午前10:40~12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30~10:20
		(嬰兒、幼児、小学生、中高生、青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30~9:00
金曜集会	金曜日	午前10:30~12:00
家庭集会 (相模原)	第二火曜日	午前10:00~12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30~3:00 (長谷川家)

## 日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&amp;FAX046 (274) 3708

牧師：吉田真司 音楽・子どもユース担当主事：江原美歌子 協力牧師：斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>